

**平成29年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

平成29年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科の実施となりました。

国語と算数の2教科で、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	74.8%			○		
国語B	57.5%	○				
算数A	78.6%				○	
算数B	45.9%	○				

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	69.2%	○				
書くこと	60.6%					○
読むこと	70.2%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.0%		○			

【考 察】

- 手紙に必要な「日付」「署名」「宛て名」の位置を正しく選択する問題がよくできていました。日頃から、お世話になった方へお礼の手紙を書いたり、書写の学習で手紙の書き方を学んだりした成果が現れました。
- グループの話し合いの様子から俳句のよさを読み取ることができない児童が多かったです。俳句に込められた季節や作者の思いを感じられるよう、俳句を繰り返し音読したり、それぞれの俳句のよさについて話し合ったりする活動を授業に取り入れていきます。また、日頃の読書を通して、詩や短歌など、様々な文章や文体に触れる機会も設けていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.9%					○
書くこと	53.4%					○
読むこと	49.2%	○				

【考 察】

- スピーチに関する話し合いの内容を正しく理解し、よりよいスピーチに書き直すことができた児童が多かったです。文章を条件に合わせて書くことに継続して取り組んできた成果だと思われます。今後も字数、内容など指定された条件に合わせて書く活動を授業に取り入れていきます。
- 「物語文を正しく読み、内容を話し合う」という問題に課題が見られました。文章の内容を正確に読み取る力を高めるために、他の文章とくらべて読むという活動や、読んだ文章の内容や感想を友達同士で話し合うという活動を多く取り入れていきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	80.6%		○			
量と測定	68.8%	○				
図形	81.1%					○
数量関係	79.6%					○

【考察】

- 角の大きさや平行四辺形の高さを見つけて面積を出す問題ができていました。引き続き、図形の学習では、具体物を使用しながら、理解を深めていきます。
- 1mに満たないリボンの代金を表した図を正しく選ぶことができました。しかし、代金を求めるための計算の仕方を選ぶ問題では、誤答がみられました。計算の仕方を機械的に教えるのではなく、計算の仕方を話し合わせながら、答えを導き出す授業をしていきます。
- 最小公倍数を求める問題では、最大公約数を求めてしまったと思われる解答がありました。「倍数」と「約数」は5年生で学習しますので、言葉の意味を確実に理解して解けるように指導をしていきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	52.8%	○				
量と測定	47.0%		○			
図形	13.2%	○				
数量関係	40.0%	○				

【考察】

- 数や図から、「数のきまり」を正しく見つけ出すことができました。しかし、友達が考えた方法を、指定された言葉や数を用いて整理して書くという問題に課題が見られました。算数科に限らず、他の教科においても友達が考えた方法を整理して「書く」「説明する」活動を多く取り入れていきます。
- 地球から見える満月の大きさをテーマにした「割合」に関する問題に、課題がみられました。生活の中でよく用いられる「80%」や「5割」などが正しく理解できるように、生活と関連づけさせた学習を取り入れ、理解を深めていきます。また、身近なものに置き換え、比べながら問題を解く指導を繰り返していきます。